

研究業績・社会活動「学会発表」

氏名(吉原 紳)

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
「III. 学会発表」				
1. 体力の日差に関する研究	共著	1975.09	日本体育学会第26回大会	看護専門学校生に体力測定を行い、体力測定の適切な時期を検討した。また体力の日内変動を分析した。ゴルフ日本シリーズにおける尾崎、青木、中村の3人を中心に、参加選手全員の18番ホールにおけるティショットアプローチ、パッティングについて分析した。
2. ゴルフスイングに関する研究「両足加重変化について」	共著	1975.09	日本体育学会第26回大会	ゴルフスイングにおいて肩、腰の回転と体重の両足加重変化が重要である。そこで初心者と習熟者、シングルプレーヤーと比較検討した。
3. 女性の体力測定の結果について	共著	1976.08	日本体育学会第27回大会	被験者10名について生理1週間前、生理中、生理1週間後、2週間後の計4回測定し、月内変動を検討した。
4. ゴルフにおけるパッティングに関する一考察	共著	1985.06	日本体育学会神奈川支部会	パッティングはアマチュアゴルファーにとってスコアメイクの60～70%を占める重要な動作である。そのパッティングについて距離及びカップまでの視野によってプロとアマチュアとの差を検討した。
5. ゴルフにおけるイメージ形成に関する研究	共著	1988.08	第1回日本ゴルフ学会大会	ゴルフはリズムとタイミングが大切である。このリズムとタイミングを何時如何なる場面においても早く正しく的確につかみプレーすることが大切である。そこでプロゴルファーのゲームを通じて検討した。
6. ゴルフの安全対策「第1報」一般ゴルファーの健康度	共著	1989.12	第2回日本ゴルフ学会大会	中高年者が多く、比較的運動強度が低いゴルファーの事故予防のための健康度さらにゴルフ中の事故についてアンケートにより検討した。
7. ゴルフの安全対策「第2報」ゴルフ場内での事故	共著	1989.12	第2回日本ゴルフ学会大会	ゴルフ場での事故原因の多くは外科的な要因であるが内科的障害、運動的な障害も多い一般ゴルフ場でのアンケートにより検討した。
8. 一般ゴルファーの実態「中高年ゴルフ愛好家および他のスポーツ愛好家の持久性」	共著	1989.12	第2回日本ゴルフ学会大会	心肺持久性、肥満度、血圧などを比較検討し、中高年者のための運動としてのゴルフの効果について検討した。
9. 一般ゴルファーの実態「一般ゴルフ愛好家のコスト面からの検討」	共著	1989.12	第2回日本ゴルフ学会大会	我が国においてはゴルフプレーの費用が高く、気軽にプレーすることが難しい。そこで一般ゴルファーがゴルフを行ううえでの経費が家計に占める割合を検討した。
10. ゴルフの安全対策「第3報」ゴルフ場の救急設備の実態	共著	1989.12	第2回日本ゴルフ学会大会	ゴルフ場における医療システムの調査を元にこれからのゴルフ場における救急医療システムについて検討した。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
11. ゴルフの安全対策 「第4報」練習の運動強度（その2）	共著	1990.01	第41回日本体育学会	練習の運動強度を知るためドライバースhootを行い、心拍数より運動強度を測定した。
12. Physical Condition of Amateur Japanese Golfers and Preparedness of Golf Courses to Handle Accidents	共著	1990.07	First World Scientific Congress of Golf St. Andrews University	関東地区のゴルフ場へのアンケート調査における事故の実態について報告した。
13. 自動血圧計の運動時の測定制度	共著	1990.07	第89回体力医学会関東地方会	自動血圧計による運動時の血圧計の測定制度について検討した。
14. ゴルフの安全対策 「第4報」練習の運動強度（その1）	共著	1990.09	第45回体力医学会総会	ゴルフ場での事故が多発している。その原因を知るために5番アイアンによる身体に与える影響について検討した。
15. ゴルフの安全対策 「アンケート調査によるゴルフ場の傷害、障害の実態調査（IX）」 「前回の調査から7年後の比較」	共著	1990.09	第12回日本ゴルフ学会大会	近畿地区のゴルフ場へのアンケート調査から7年がすぎた今回その後の安全対策、救急体制がどのように整備されたかについて再調査を行い、前回と比較検討した。
16. アンケート調査からみたゴルフ場における実態	共著	1990.12	第90回体力医学会関東地方会	関東地区におけるゴルフ場へのアンケート調査の結果およびその実態について報告した。
17. 短時間激運動の生態に及ぼす影響 「経時変化について」	共著	1990.12	第90回体力医学会関東地方会	自転車（エルゴメーター）を使用して短時間激運動の生体に及ぼす実験結果について報告した。
18. アンケート調査からみたゴルフ場における突然死の実態と今後の対策	共著	1990.12	第3回日本ゴルフ学会	ゴルフ場での事故をもとにその対応、特に安全対策、救急医療体制について検討した。
19. ゴルフ愛好家に対する運動負荷試験実施の意義	共著	1990.12	第3回日本ゴルフ学会	ゴルフプレーヤーに臨床的検知から、トレッドミルによる運動負荷試験を行い他のスポーツ愛好家と比較検討した。
20. ゴルフ愛好家における冠危険因子の実態	共著	1990.12	第3回日本ゴルフ学会	ゴルフ愛好家における冠危険因子保有状況を把握して他のスポーツ愛好家との比較および、安全に楽しむための体力作りを提言した。
21. ゴルフ練習中の運動強度	共著	1990.12	第3回日本ゴルフ学会	ゴルフ練習中の運動強度を知る為に、被験者に心電計を装着してゴルフ練習場内で5アイアン、ドライバースhootによる変化から運動強度を検討した。
22. ゴルフラウンド中の体温と心拍数	共著	1991.09	第4回日本ゴルフ学会	ゴルフラウンド中の生体については、あまり知られていない特にラウンド中の体温の変化については実験されていないのが現状である、心拍数と併せて実験を行った。
23. パターにおよぼす聴覚の意義	共著	1991.09	第4回日本ゴルフ学会	パターでパッティングをする時の聴覚の果たす役割を知る為に、聴覚を耳栓で管理して通常の状態と距離及び方向について比較検討した。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
24. スイングにおよぼすの意義	共著	1991.09	第4回日本ゴルフ学会	ゴルフクラブをスイングする時の聴覚の果たす役割を知る為に、聴覚を耳栓で管理して通常の状態とヘッドスピードおよびボールの飛距離を比較検討した。
25. ゴルフ練習場の安全対策に関する研究	共著	1991.09	第4回日本ゴルフ学会	ゴルフ練習場における事故の実態調査を行い、ゴルフ練習場における安全対策確立のため資料を得てゴルフ練習場における緊急医療体制について検討した。
26. ゴルフスイングにおよぼ聴覚の影響について	共著	1991.10	日本体育学会第42回大会	第四回日本ゴルフ学会ではドライバーによる実験であった今回は5番アイアンによるスイングの実験であり併せてドライバーとの違いについて聴覚を遮断して実験し検討した。
27. ゴルフにおける聴力の役割について	共著	1991.10	第46回日本体力医学会大会	聴覚を遮断してドライバー、5番アイアンによるショットを行い、ヘッドスピード、距離、方向性について検討した。
28. 釣りの生態に及ぼす影響について	共著	1991.10	第46回日本体力医学会大会	スポーツ人口の多い釣りについての実験は、意外に少ない今回は自宅から釣り場、さらに自宅に帰るまでの生体について心電計、血液から検討した。
29. The Change of Blood Laboratory Findings on the Suddenly Increased and Intensified Exercise	共著	1991.10	Second IOC World Congress on Sport Sciences Barcelona, Spain	短時間の中で激しい運動をすることによって血液成分が変化するという変化の度合いを検討した。
30. Coronary Risk Factors of Amateur Japanese Golfers and Preparedness of Golf Courses to Handle Accidents	共著	1991.10	Second IOC World Congress on Sport Sciences Barcelona, Spain	日本の多くのゴルファー、ゴルフ愛好家は何らかのリスクファクターを持っている、従ってプレー中に思わぬ事故が起きうると予想される日頃の心構えについて論及した。
31. Work Intensity of Golf Lesson	共著	1992.03	FIMS. 1992. Hong Kong International Sports Medicine Conference	被験者19名により練習場において自動玉出機を用いて自己のペースで50球の打ち込みをおこない実心拍数と主観的心拍数とを比較検討した。
32. The Effects of Suddenly Increased and Intensified Exercise on The Human Body	共著	1992.03	FIMS. 1992. Hong Kong International Sports Medicine Conference	短時間激運動における生体変化についての検討、トレッドミル及び自転車エルゴメーターによる測定結果について報告した。
33. The Daily Profile of Vagal Tonus Presumed by Diving Bradycardia and The Effect of Water Temperature on Diving Bradycardia	共著	1992.03	FIMS. 1992. Hong Kong International Sports Medicine Conference	遠距離水泳における水温との関わりについて、またその影響がどれぐらいありその原因が何にあるのかについて検討した。
34. The Effect of Long Distance Swimming on the Human Body	共著	1992.07	The Olympic Scientific Congress 1992	遠距離を泳ぐスイマーに生態的のどのような影響があるかについて検討した。
35. The Effect of Sudden Strenuous Exercise on the Human Body	共著	1992.07	The Olympic Scientific Congress 1992	短時間の中で激しい劇運動を行っているときに突然どのようなことが起き、また人間の体にどのような影響があるかについて検討した。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
36. アンケート調査から見たスポーツクラブとゴルフ場の実態	共著	1992.09	第47回日本体力医学会大会	ゴルフ場の事故の実態をふまえ、スポーツクラブの事故の実態を調査しゴルフ場との安全対策の違いや、救急医療体制について検討した。
37. 民間スポーツクラブにおける安全対策	共著	1992.09	第47回日本体力医学会大会	民間スポーツクラブにおける事故の実態を調査することによりスポーツクラブの安全対策、救急医療体制の実態について検討した。
38. The Effect of Audition Golf Swing	共著	1992.10	FIMS 7th European sports Medicine Congress	ゴルフ場へのアンケート調査による救急医療及び安全対策について検討した。
39. Body Composition and Lipid Metabolism in Obese Students of Faculty of Physical Education	共著	1992.10	FIMS 7th European sports Medicine Congress	体育大学生における現状は、肥満学生が多くなってきているのが現状である、従って肥満学生の生体及び脂質代謝について検討した。
40. Heart Rate and Body Temperature During Playing Golf	共著	1992.10	FIMS 7th European sports Medicine Congress	炎天下でのゴルフがプレーヤーの体にどのような影響を与えるかについて心拍数から検討した。
41. The Effect of Super-Endurance Exercise on the Human Body	共著	1992.10	FIMS 7th European sports Medicine Congress	短時間激運動で限界までトレーニングをしたとき人体に突然起こる生体変化について検討した。
42. スポーツクラブとゴルフ場における安全対策の比較	共著	1992.12	日本体育学会第43回大会	スポーツクラブと、ゴルフ場における安全対策、特に有資格者及び救急医療体制について検討した。
43. 体育大学生における肥満及び脂質代謝に関する検討	共著	1992.12	日本体育学会第43回大会	体育大学生における現状は、肥満学生が多くなってきているのが現状である、従って肥満学生の生体及び脂質代謝について検討した。
44. ゴルフ愛好家における冠危険因子保有状況と突然死	共著	1992.12	The World Golf Forum '92	中高年者のゴルフ愛好家における突然死は相変わらず多い、そこでその原因である冠危険因子保有者を調査し保有状況と突然死の因果関係について検討した。
45. ゴルフにおける聴覚の影響	共著	1992.12	The World Golf Forum '92	ゴルフスイングにどのぐらい聴覚が影響しているかについて、あまり知られていない、従ってその影響を知るために両耳、左耳、右耳を遮断してスイング中のヘッドスピード距離、方向について検討した。
46. ゴルフスイングにおける聴力の影響	単著	1993.05	聖マリアンナススポーツ医学研究会	ゴルフ場での安全対策、及び救急医療体制についての実態とその対策についての検討した。(ゴルフ学会で報告済み)
47. ゴルフの安全対策「ゴルフ場のアンケートによる傷害、障害の実態」	共著	1993.11	第6回日本ゴルフ学会	アンケート調査によるゴルフ場での事故及び、救急医療体制に対する実態について、近畿地区を対象に検討した。
48. 子供のスポーツクラブに関する研究「母親のスポーツクラブに対する意見について」	共著	1993.11	日本体育学会第44回大会	母親の意識の中で勉強に対する意識とスポーツに対する意識の二つがある。今回は母親のスポーツクラブに対する意識調査について検討した。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
49. Physiological Response of Endurance Swimming on the Human Body	共著	1993. 11	2nd Int's Conference on Sports Medicine Beijing, China	短時間激運動で限界までトレーニングをしたとき、人体に突然起こる生体変化について検討した。
50. ゴルフ場の安全対策「ゴルフ場アンケートによる傷害、障害の実態 (IV)」	共著	1994. 08	第7回日本ゴルフ学会大会	アンケート調査によるゴルフ場での事故及び、救急医療体制についての実態について、中国、四国地区を対象に検討した。
51. ゴルフ場の安全対策「ゴルフ場のアンケート調査による傷害、障害の実態と安全対策 (V-1)」	共著	1994. 09	第49回日本体力医学会	アンケート調査による中部地区のゴルフ場での従業員、及び、キャデールの事故の実態と救急医療体制についてについて検討した。
52. Safety Measures in Golf Details Obtained Through A Questionnaire Survey	共著	1994. 09	XXV FIMS World Congress of Sports Medicine Athens, Greece	中国、四国地区のアンケート調査による実態、特に救急医療設備、備品について検討した。
53. The Consciousness of The Student on Doping on Olympic Games	共著	1994. 09	XXV FIMS World Congress of Sports Medicine Athens, Greece	大学生のオリンピックにおけるスポーツと、ドーピングという問題について、どのような意識を持っているか検討した。
54. The Investigation into The Application of The Maximal Lipid Combustion Rate to The Exercise	共著	1994. 09	XXV FIMS World Congress of Sports Medicine Athens, Greece	トレーニング、運動によって最も効率のいい脂肪燃焼の運動処方について検討した。
55. Safety Measures in Golf Details Obtained Through A Questionnaire Survey	共著	1994. 09	XXV FIMS World Congress of Sports Medicine Athens, Greece	近畿地区のアンケート調査による安全対策、救急医療対策の実態について検討した。
56. ゴルフ場の安全対策「ゴルフ場のアンケート調査による傷害、障害の実態調査 (VI)」	共著	1995. 06	第8回日本ゴルフ学会	中国、四国地区のアンケート調査について主にプレーヤーの事故の実態について検討した。
57. Safety Measures in Golf(V-1) Details of Injuries and Accidents Obtained Through A Questionnaire Survey	共著	1995. 08	FISU/CESU Conference The 18th Universiade 1995 Fukuoka, Japan	東北地区のゴルフ場へのアンケート調査による安全対策及び救急医療体制についての実態調査の報告である。
58. アンケート調査によるゴルフ場の事故の実態 (VI-1)「ゴルフ場従業員の事故についての検討」	共著	1995. 09	第50回日本体力医学会	中国、四国地区のアンケート調査において主に従業員における事故、障害について検討した。
59. Safety Measures in Golf Details of Injuries and Accidents Obtained Through A Questionnaire Survey	共著	1995. 10	8th FIMS European Congress of Sports Medicine Granada, Spain	日本のゴルフ場におけるアンケート調査による安全対策及び救急医療体制についての実態調査報告である。(東北地区対象)
60. Students Consciousness For Doping on The Olympic Games	共著	1996. 07	Physical Activity, Sport and Health The 1996 International Pre-Olympic Scientific Congress Dallas, Texas USA	オリンピックゲームにおけるドーピングについて体育学を専攻している学生がどのように感じているか調査の結果を報告した。
61. 男子400mH走におけるモデルタッチダウンについて	共著	1996. 08	日本スプリント学会第7回大会	男子400メートル走におけるハードル間の時間経過についてその経過時間の長短の検討とその対策について報告した。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
62. ゴルフの安全対策 「アンケート調査によるゴルフ場の傷害、障害の実態調査(VII)」	共著	1996. 11	第9回日本ゴルフ学会大会	関東甲信越地区のアンケート調査による安全対策及び救急医療について報告した。
63. プレーヤーの健康管理	単著	1997. 03	日本ゴルフ学会 コミュニティーカレッジ	ゴルフ場の事故の実態をふまえて自分自身の健康管理がいかに大切であるかまた、自己管理のスポーツであるゴルフについてした検討した。
64. 安全で楽しいゴルフをするために	単著	1997. 05	神奈川体育学会第1回大会	ゴルフ愛好家のほとんどは中高年者であり何らかの疾患を持っている人が多い。そんな人たちが安全で楽しいゴルフをするためのアドバイスについて提言した。
65. Safety Measures In Golf Details of Injuries and Accidents Obtained Through A Questionnaire Survey (VII)	共著	1997. 09	9th European Congress of Sports Medicine Rua Alexandre Herculano Porto, Porutogaru	関東甲信越地区のゴルフ場、810カ所へのアンケート調査により、前回の調査から7年後の結果について比較検討した。
66. ゴルフの安全対策 「アンケート調査によるゴルフ場の傷害、障害の実態調査(VIII)」	共著	1997. 10	第10回記念日本ゴルフ学会大会	全国を6地区に分けて、その地区ごとにアンケート調査を行ってきた調査の対象となったゴルフ場は1940カ所であり、その6地区全部の結果について報告した。
67. 100を切るゴルフ技術	単著	1997. 11	日本ゴルフ学会 コミュニティーカレッジ	100を切るための体力作り筋力、技術など、とゴルフに対する姿勢と心構えについて論及した。
68. 90を切るゴルフ技術	単著	1997. 12	日本ゴルフ学会 コミュニティーカレッジ	90を切るゴルフのための体力、技術、精神的な強さ、メンタルトレーニングなどの習得とゴルファーとしての心構えについて論及した。
69. プレーヤーの健康管理	単著	1998. 03	日本ゴルフ学会 コミュニティーカレッジ	プレーヤーの健康管理についてメディカルチェックの必要性、及び日頃の心構え、さらに筋肉トレーニングやジョギングについて論及した。
70. シンポジウム 「ゴルフと安全管理」	単著	1998. 10	第11回日本ゴルフ学会大会	高齢化社会に入り益々高齢者のゴルフ人口が増えてくると考えられる。その人達が安全で楽しいゴルフをするためにゴルフ場では何を、どう整えたらよいかそのノウハウについて報告した。
71. ゴルフの安全対策 「アンケート調査によるカリフォルニア州のゴルフ場の実態調査(その1)」	共著	1998. 10	第11回日本ゴルフ学会大会	全米には1万6千カ所のゴルフ場がある、今回カリフォルニアにある600カ所のゴルフ場すべてにアンケート調査を行い、その結果について報告した。
72. ゴルフと健康 「安全で楽しいゴルフをする為に」	単著	1998. 11	日本ゴルフ学会 ゴルフコミュニティーカレッジ	
73. Study of Accidents at Golf Courses	共著	1998. 11	Final Program And Abstracts of Papers FIMS First Euro-Asian Sports Medicine Congress Nicosia, Cyprus	ゴルフプレー中の死亡事故の主な原因は心筋梗塞、心不全脳卒中等であるが、いずれも多くの中高年者がリスクファクターとして持っている。肥満、高血圧、高脂血症などが誘因と考えられた従って疾患の有無をチェックすることの必要性について報告した。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
74. Intensity of Exercise When Playing Golf	共著	1999.07	4th Annual Congress of The European College of Sport Science Rome, Italy	ゴルフプレー中の循環器についてゴルフ愛好家と、他のスポーツ愛好家、及び何もスポーツをしていない人との比較検討し報告した。
75. ゴルフの安全対策 「アンケート調査によるゴルフ場の傷害、障害の実態調査(XI)」	共著	2000.05	第4回神奈川体育学会	中部地区のゴルフ場へのアンケート調査から7年がすぎた今回その後の安全対策、救急体制がどのように整備されたかについて再調査を行い、前回と比較検討した。
76. ゴルフの安全対策 「アンケート調査によるゴルフ場の傷害、障害の実態調査」	共著	2000.07	第13回日本ゴルフ学会大会	近畿、中部地区のゴルフ場へのアンケート調査から7年がすぎた今回その後の安全対策、救急体制がどのように整備されたかについて再調査を行い、前回と比較検討し関西地区の指標とした。
77. Safety Measures in Golf Courses A Questionnaire Survey on Injuries and Medical Episodes in Golf Courses	共著	2000.07	5th Annual Congress of the European College of Sport Science July 19-23, 2000 Finland	関西地区のゴルフ場での事故件数及び事故の内容(内科的、外科的)とヨーロッパのゴルフ場での事故の内容との比較。
78. Psychophysiological Differences in a Pilot When Controlling and not Controlling a Commercial Jet Airliner	共著	2000.07	International Ergonomics Association XIVth Triennial Congress and Human Factors "ERGONOMICS FOR THE NEW MILLENNIUM" July 30, August 4, 2000 SAN DIEGO, CALIFORNIA USA	航空自衛隊のパイロットの心拍数からみるストレスの検討。
79. ゴルフ場の安全対策 「中高年ゴルファーの実態」	単著	2000.12	第10回日本ゴルフ学会 ゴルフコミュニティカレッジ	関西地区のゴルフ場における中高年ゴルファーの実態調査。その原因と予防対策、特に、中高年者に多い事故、心筋梗塞、心不全、脳梗塞などの実態と予防。
80. ゴルフと健康最新理論 「突然死」「日焼け」好きなゴルフで死なないために	単著	2000.12	日本ゴルフ学会 コミュニティカレッジ	夏季におけるゴルフの心構え。特に、突然死や直射日光における光対策、および適切な水分補給について。
81. Safety Measures in Golf Courses	共著	2001.07	6th Annual Congress of The European College of Sport Science July 24-28, 2001 COLOGNE	ゴルフプレー中の死亡事故の中で特に循環器系についての調査、年齢別に見ると60代が最も多く、次いで50代、70代となっている。その原因と安全対策についての検討。
82. A Study on Approach Speeds of the Hands Under Metal Machine Operation	共著	2001.10		
83. シングルハンディを目指す練習法	単著	2001.12	平成13年度コミュニティカレッジ 第2回講座	ゴルファーの夢シングルを目指すための練習方法多くのプレーヤーが間違った練習法と考え方を持っている。意識改革によってシングルになれる。
84. ゴルフ場における事故と予防策	単著	2002.01	平成13年度コミュニティカレッジ 第3回講座	今日までのゴルフ場におけるアンケート調査を検討し安全で楽しいゴルフをする為の心得さらに練習法と体力づくりについて。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
85. Safety Measures in Golf Courses	共著	2002.07	7th Annual Congress of the European College of Sport Science July 24-28, 2002 ATHENS	関東甲信越ゴルフ場810ヵ所におけるゴルフ場へのアンケート調査。特に安全対策、救急医療態勢の実態についての調査・研究。
86. Safety Measures in Golf Courses — Fact-Finding Survey on Golf Courses in Germany, Austria by Questionnaire —	共著	2003.07	8th Annual Congress of the European College of Sport Science July 9-12, 2003 AUSTRIA	ドイツ・オーストリアのゴルフ場へのアンケート調査による実態調査。日本のゴルフ場へのアンケート内容と同じで内容で行い、事故の実態、安全対策などについて検討した。
87. Safety Measures in Golf Courses — Fact-Finding Survey on Golf Courses to Prevent Injury, in Corea on Questionnaire —	共著	2003.08	14th International Symposium Adapted Physical Activity Inclusion, Coexistence, Human Value for All Through Adapted Physical Activity August 4-7, 2003 SOUL, KOREA	韓国ゴルフ場へのアンケート調査による事故の実態調査。日本のゴルフ場と同じ内容で行い、日本と韓国のゴルフ場での事故についての検討。
88. M. PSOAS Major Muscle Power Evaluation Measurement Device	共著	2003.08	14th International Symposium Adapted Physical Activity Inclusion, Coexistence, Human Value for All Through Adapted Physical Activity August 4-7, 2003 SOUL, KOREA	人間の日常生活の中で最も大切な筋力、特に活動筋の発達が大変な筋力を測定して強化することは大切である。特に腰殿筋の測定機器の実験。
89. Effects of Auditory Load on Visual Information	共著	2003.08	XVth Triennial congress of the international Ergonomics Association and The 7th Joint Conference of Ergonomics Society "Ergonomics in the Digital Age" August 24-29, 2003 Seoul, Korea	吉原紳
90. ゴルフ場での事故の実態について	単著	2004.01	日本ゴルフ学会 コミュニテイカレッジ	アンケート調査によるゴルフ場での事故を調査してきた結果をもとに、中高年ゴルファーの安全対策。
91. ゴルフと健康について	単著	2004.02	日本ゴルフ学会 コミュニテイカレッジ	今、中高年者に最も人気のあるスポーツはゴルフである、なぜこれほどまで人気があるのか、ゴルフはスポーツとしても楽しく、中高年者の運動強度としてもさいてきである。
92. ゴルフルール	単著	2004.03	日本ゴルフ学会 コミュニテイカレッジ	ゴルフコミュニテイカレッジ受講生にプレー中の最低限のマナー、ルールについての講義。
93. Altered Pre-Exercise Resting Heart Rate Affects Individual Heart Rate Oxygen Uptake Relation During Exercise	共著	2004.07	9th Annual Congress of the European College of Sport Science July 3-6, 2004 CLERMONT-FERRAND, FRANCE	中部地区ゴルフ場へのアンケート調査を行いゴルフ場での安全対策についての検討。特に死亡事故に対する予防対策などの必要性について。
94. 聖マリアンナ医科大学新入生における過去15年間の体力推移	単著	2004.07	第47回聖マリアンナ医科大学学術集会	聖マリアンナ医科大学に入学した新入生について過去15年間の体力推移についての検討。他の医科大学との比較。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
95. Altered pre exercise resting heart rate atfecgt indlvidual neart oxygen uptake velation daring exercise	共著	2004. 07	9th Annaal Congkess Europeann Coilege of sport suience cltrmont-feprand-FRANCE	Yoshihara. S
96. シンポジウム「高齢化社会とゴルフ」	単著	2004. 09	日本ゴルフ学会第17回大会	アンケート調査によるゴルフ場での事故を調査してきた結果をもとに、中高年ゴルファーの安全対策。
97. Analysis of Evaluation of Object Colonia Dense Feg Towards a Sustainable Lighting Feature	共著	2005. 07	proceedings of the 5th Lux Pacifica, July, 24-26 2005, Cairns international hotel, Cairns, Queensland, Australia	Yoshihara. S
98. Analysis of Evaluation of Object Colonia Dense Feg Towards a Sustainable Lighting Feature	共著	2005. 07		Yoshihara. S, Yamamoto. T, Miura. M, Miura. K, Itikawa. D, Tamura. M, Kato. Z, Yi. K,
99. 真夏のゴルフ医学「コースに行く前、ラウンド中ちょっとしたことが生死を分ける」	単著	2005. 08	日本ゴルフ学会関東支部主催 ゴルフフォーラム(聖マリアンナ医科大学)	真夏のゴルフを安全に楽しくプレーするために注意しなければならない、プレ場での基本特に熱中症対策について、水分補給、グッズの活用も大切。
100. Safety measures of golf courses -Fact-Finding survey on golf coarsesin sppin on golf courses in sppin	共著	2005. 09	10th AnnaalConglese Eoropeann Coilege of sport suience july 13-16, Belgrode Serdia	Yoshihara. S , Ymamoto. T, Peku. S, Ogura. M, Aoyama. H, Miura. K, Miyra. M, Yi Kyong Ok,
101. ゴルフ場での事故と安全対策「その15」	共著	2005. 09	日本ゴルフ学会第16回大会 国土館大学	今回は関東甲信越781か所のゴルフ場に調査を行った。最も問題となるプレーヤーの死亡事故については、総件数で13件であり、開設以来の死亡事故については、総件数は104件であった。
102. 運動時の姿勢変化と体重心移動量との関係	共著	2005. 09	日本ゴルフ学会第18回大会 国土館大学	ゴルフ・スイング練習中における体重移動とハンディキャップとの関係を、足圧荷重比を測定し、両者の関係について検討した。
103. 中高年ゴルファーの股関節筋力の測定「内・外転筋力について」	共著	2005. 09	日本ゴルフ学会第18回大会 国土館大学	股関節筋力が、運動のパフォーマンスにどのような影響をもたらしているかについて検討した、その結果基礎的データとしていくつかの知見をえた。
104. ゴルフ公開文化講座 コミュニティカレッジ 平成16年度	単著	2005. 11	日本ゴルフ学会 オリンピック青少年記念総合センター	ゴルフ場での事故の実態を調査してきた結果についての報告と、プレーヤーとして事故に、陥りやすいプレーヤーの要素について解説。模範となるプレーヤーについての解説。
105. Safety measures in golf the actual situation concerning accidents (injuries and damages) as revealed by a questionnaire survey of golf courses and possible measures to prevent them	共著	2006. 07	11th AnnaalConglese Europeann Coilege of sport suience July 05-08, 2006 Lausanne, Switzerland	Yoshihara. S, Yamamoto. T, Miura. M, Miura. K, Itikawa. D, Tamura. M, Kato. Z, Yi. K,

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
106. Study on influence of color difference on target detection time	共著	2006. 07	IEA2006 (International Ergonomics Association): 16th World Congress on Ergonomics, July 10-14, 2006 Maastricht, The Netherlands	Yoshihara, S, Yamamoto, T, Miura, M, Miura, K, Itikawa, D, Tamura, M, Kato, Z, Yi, K,
107. 商業スポーツ施設におけるマネジメントの現状について	共著	2007. 06	日本運動・スポーツ科学学会第14回大会、プログラム・抄録集 p. 25 玉川大学	東北地方のゴルフ場における付帯設備とマーケティングの現状について、アンケート調査を実施し調査結果を報告した。
108. 近畿地方のゴルフ場における付帯設備とマーケティング策の現状についての調査	共著	2007. 06	日本運動・スポーツ科学学会第14回大会、プログラム・抄録集 p. 25 玉川大学	近畿地方のゴルフ場における付帯設備とマーケティングの現状について、アンケート調査を実施し調査結果を報告した。
109. 日本のゴルフ場における付帯設備とマーケティング策の現状についての調査	共著	2007. 07	日本スポーツ産業学会第16回大会、大会号 pp. 109-110 早稲田大学東伏見キャンパス	全国のゴルフ場における付帯設備の現状と展望、マーケティング策の現状等について、アンケート調査を実施報告した。
110. 日本人ゴルファーのマナー違反の現状—全国ゴルフ場支配人の見解—	共著	2007. 07	日本スポーツ産業学会第16回大会、大会号 pp. 109-110 早稲田大学東伏見キャンパス	全国のゴルフ場支配人に対して、最近マナー違反はよくあるか、あるいはよくあるマナー違反の内容は何かについて調査した結果を報告した。
111. Safety measures in golf the actual situation concerning accidents (injuries and damages) as revealed by a questionnaire survey of golf courses and possible measures to prevent them	共著	2007. 07	12th AnnaalConglese Europeann Coilege of sport suience July 11-14, 2007 Jyvaskyla, Finland	Yoshihara, S, Kita, T, Yamamoto, T, Miura, M, Miura, K, Hashuguti, T, Itikawa, D, Tamura, M, Kato, Z, Yi, K,
112. The Study about health consciousness and practice methods of the Japanese middle aged golfer	共著	2007. 07	12th AnnaalConglese Europeann Coilege of sport suience July 11-14, 2007 Jyvaskyla, Finland	Kita, T, Yoshihara, S, Yamamoto, T,
113. Sporting goods shops management in Japan -A discussion with respect to the percent distribution of customers	共著	2007. 07	12th AnnaalConglese Europeann Coilege of sport suience July 11-14, 2007 Jyvaskyla, Finland	日本のスポーツ小売店の販売先構成比から、ショップマネジメントの現状の比較を行った。
114. A survey of the attached facilities at golf courses in England, Scotland, Wales, Ireland, Australia, and New Zealand	共著	2007. 07	12th AnnaalConglese Europeann Coilege of sport suience July 11-14, 2007 Jyvaskyla, Finland	イングランド、スコットランド、ウェールズ、アイルランド、オーストリア、ニュージーランド、のゴルフ場の付帯設備の現状を調査し、報告した。
115. International comparison of marketing in golf course management	共著	2007. 07	12th AnnaalConglese Europeann Coilege of sport suience July 11-14, 2007 Jyvaskyla, Finland	イングランド、スコットランド、ウェールズ、アイルランド、オーストリア、ニュージーランド、のゴルフ場で実施されているマーケティング策について調査した。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
116. A Survey of customer service at golf course in England, Scotland, Wales, Ireland, Australia, and New Zealand	共著	2007.08	ISSA and ISHPES Joint World Congress, Program & Abstracts, p.73 August, 4, 2007 University of Copenhagen, Denmark	ヨーロッパ諸国とオセアニア諸国のゴルフ場における、顧客サービスに対するサービスの現状と実施されている内容について報告した。
117. ゴルファーのマナー違反についての国際調査	共著	2007.09	日本体育学会 第58回大会予稿集 p.297 神戸大学国際文化学部	ヨーロッパ諸国とオセアニア諸国のゴルフ場支配人に対して、ゴルファーのマナー違反の現状について調査を実施した結果を報告した。
118. ゴルフ場における顧客に対するサービスについての国際比較	共著	2007.11	ゴルフの科学 Vol.20, No.2 pp.36-37 熊本学園大学	私たちは日本のゴルフ場で実施されている顧客に対するサービスの現状について調査を実施する、日本以外のゴルフ場の現状と比較するため、外国のゴルフ場に対して調査した。
119. ゴルフ場の安全対策—アンケート調査によるゴルフ場での事故の実態調査—	共著	2007.11	ゴルフの科学 Vol.20, No.2 pp.38-39 熊本学園大学	今回はオーストラリアにあるゴルフ場673か所について、日本と同じ目的でゴルフ場での事故の実態と、救急医療の現状についてアンケート調査を実施した。事故時における対処法表や救急訓練などに大きな違いがみ
120. Golf course management in Australia	共著	2008.03	Australian Association for Exercise and Sports Science, Abstracts p.198 March, 27, 2008 Melbourne, Australia(ACU)	オーストラリアにおけるゴルフ場におけるマーケティング策とサービス実施の現状について論じた。サービス実施の有無とマーケティング策との関連についても考察した。
121. A Survey of Golf Course Management in New Zealand	共著	2008.05	ICHPER-SD 50th Anniversary World Congress Program & Proceedings pp.542-546 May, 10, 2008 鹿屋体育大学	ニュージーランドにおけるゴルフ場における、マーケティング策とサービス実施の有無とマーケティング策との関連について考察した。
122. A survey on breaches of manners among Japanese golfers Comments of golf course managers-	共著	2008.07	13th Annual Congress of the European College of Sports Science, Book of Abstracts p.198 July 9-12, 2008 Estoril, Portugal	日本のゴルフ場支配人に対して、最近マナー違反はよくあるか、あるいはよくあるマナー違反の内容は何かについて調査し、結果を報告した。
123. Safety measures in golf the actual situation concerning accidents (injuries and damages) as revealed by a questionnaire survey of golf courses and possible measures to prevent them	共著	2008.07	13th Annual Congress of the European College of Sports Science, Book of Abstracts p.198 July 9-12, 2008 Estoril, Portugal	日本の東海地区、近畿地区のゴルフ場543か所コースをたいしょうに、安全対策に関する調査を実施した。救急事故の発生実態や救急医療体制などの知見を得た。
124. Research about the measurement of the torque	共著	2008.07	13th Annual Congress of the European College of Sports Science, Book of Abstracts p.198 July 9-12, 2008 Estoril, Portugal	MRIを用いて大腰筋を撮影した。大腰筋の太さと内転筋力に有意な相関が認められた。また、運動歴などによって、左右の筋の発達に相違が生じる可能性が試算された。
125. Research on torque measurement	共著	2008.07	13th Annual Congress of the European College of Sports Science, Book of Abstracts p.198 July 9-12, 2008 Estoril, Portugal	MRIを用いて大腰筋を撮影した。大腰筋の太さと内転筋力に有意な相関が認められた。また、運動歴などによって、左右の筋の発達に相違が生じる可能性が試算された。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
126. Current status of official web site of sport facilities in Japan Comparison between golf course and ski resorts-	共著	2008.07	5th World Congress of ISSA PROGRAM & ABSTRACTS p.61 京都大学	日本のゴルフ場とスキー場におけるオフィシャルウェブサイト開設の現状と、さいとないでしめされたじょうほうをぶんせきし、その0共通点や相違点などを比較検討した。
127. パブリックゴルフ場のBtoCマネジメントにおけるオフィシャルウェブサイト	共著	2008.08	ゴルフの科学 Vol.21, No.2 pp.26-27 八戸工業大学	全国のパブリックゴルフ場(セミパブリックを含む)248施設をを調査対象とした。ウェブサイトを開設するゴルフ場のうち利用の高いコンテンツとしてはコースガイド、悪説情報、プレー予約であった。
128. A Survey of Golf Course Management in European Countries	共著	2009.04	IV International congress "People, Sports and Health" Proceedings p.7 April, 23-25, 2009 St.Petersburg, Russia	ヨーロッパ諸国779のゴルフ場支配人にアンケートを行いゴルフ場のマネジメントの現状について調査した。実施されているマーケティング策として、プレー価格の見直しやコースの改修・新設などが多く挙げられた。
129. International comparison of manner code violations among golfers	共著	2009.04	IV International congress "People, Sports and Health"Proceedings, p.7 April, 23-25, 2009 St.Petersburg, Russia	ヨーロッパ諸国およびオセアニア諸国のゴルフ場1893施設に対してマナー違反の現状についての調査を実施した。スロープレー、ドレスコード違反が最も多くあげられ、ディボット、ボールマーク等が次に挙げられた。
130. Marketing and customer service of golf course in Oceania countries	共著	2009.04	IV International congress "People, Sports and Health"Proceedings, p.7 April, 23-25, 2009 St.Petersburg, Russia	オーストラリア渡ニュージーランドのゴルフ場1108施設に対して、実施しているマーケティング策の現状についての調査を行った。その結果、コースの改修新設、付帯設備の改修、といった内容が多く行われていた。
131. A Survey of Golf Course Management in Scotland	共著	2009.06	14th Annual Congress of the European College of Sports Science, Book of Abstracts p.364 June, 24-27, 2009 Oslo, Norway	スコットランドのゴルフ場310施設にアンケート調査を実施し、マーケティング策についてのデータを収集した。プレー価格の見直しという活動がマーケティング策として最も多く実施されていた。
132. Relationship between Torque values of hip joint muscles and cross-sectional areas of posas major and erector spinae muscles in older males	共著	2009.06	14th Annual Congress of the European College of Sports Science, Book of Abstracts p.364 June, 24-27, 2009 Oslo, Norway	継続的な運動習慣のある66歳から68歳の男性3名の股関節筋力と大腰筋断面積を計測した。その結果尾の野に大腰筋断面積の大きさに左右差が認められ運動特性と大腰筋断面積には何らかの関連性があることが試算された。
133. Analysis of ski resort websites in Japan	共著	2009.07	Asia Pacific Tourism Association 2009, Abstract Proceedings pp.274-275, Juliy, 12, 2009 Seoul, South Korea	日本における全スキー場のオフィシャルウェブサイトの有無と、ウェブサイト有する場合のコンテンツを分析した。その結果北海道や東北地区では、サイト開設の割合が低く、コンテンツの充実度も低いことが明らかになった。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
134. ゴルフ場でみられるマナー違反の国際調査	共著	2009.09	ゴルフの科学 Vol. 22, No. 2 pp. 31-32 玉川大学	諸外国のゴルフ場で見られるマナー違反について調査を実施した。対象国は、イングランド、スコットランド、ウェールズ、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ合衆国、カナダであった。地区を問わず「スロープレー」が上位に挙げられた。日本では「ドレスコード」が特に重視されており、日本以外では「汚い言葉で罵る」「クラブを叩きつける」など屋や暴力的な内容が多く挙げられた。
135. ゴルフ場の安全対策—アンケート調査によるゴルフ場の実態（アメリカ合衆国・カナダ）—	共著	2009.09	ゴルフの科学 Vol. 22, No. 2 pp. 37-38 玉川大学	アメリカ合衆国とカナダのゴルフ場を対象に、安全対策に関する調査を実施した。救急車の出動回数や死亡事故、救命救急訓練の実施場紀要や救急医療体制などの知見を得た。
136. アメリカ合衆国におけるゴルフ場経営に関する調査	共著	2009.11	第13回神奈川体育学会大会 横浜市立大学	日本のゴルフ場経営への外資系企業の参入への行き良いは依然衰えを見せない。参入企業の企業上位はアメリカ企業である。本調査ではアメリカ合衆国におけるゴルフ場まめージメントの現状を調べ今後の日本のゴルフ場がどうあるべきかを検討した。
137. A Survey of Golf Course Management in United States	共著	2010.06	15th Annual Congress of the European College of Sports Science, Book of Abstracts p.333 June, 23-26, 2010 Antalya, Turkey	Yoshihara.S, Kita.T, Yamamoto.T, Miura.M, Miura.K, Hashuguti.T, Itikawa.D, Tamura.M, Kato.Z, Yi.K,
138. Study Regarding Torque Measurements-Relationship between hip-joint muscle strength and bone density, and running ability in long-distance runners among athletes-	共著	2010.06	15th Annual Congress of the European College of Sports Science, Book of Abstracts p.333 June, 23-26, 2010 Antalya, Turkey	kita.T, Yoshihara.S, Miura.K, Miura.M, Akita.K, Yshihara.S, Tamura.M, Kato.Z, Ki.K
139. Investigation of marketing and customer service of golf course in North America	共著	2010.09	11th World Leisure Congress, Abstract Book pp.179-180 August, 28 - September 2, 2010 ChunCheon, South Korea	Kita.T, Yoshihara.S, Yamamoto.T
140. 子どものゴルフ環境についての一考察—関東地方のゴルフ場に対する調査—	共著	2010.09	ゴルフの科学 Vol. 23, No. 2 pp. 32-33 中京大学名古屋キャンパス	子どもに対する取り組みやサービスの現状について調べるため調査した、具体的な取り組みとしては「子どもの料金設定」「ジュニアレッスン」に関する内容が多く挙げられた。
141. ゴルフ場の安全対策—関東地区ゴルフ場へのアンケート調査による事故（傷害・障害）の実態と予防対策についての検討—	共著	2010.09	ゴルフの科学 Vol. 23, No. 2 pp. 34-35 中京大学名古屋キャンパス	関東地区にあるゴルフ場へのアンケート調査した、場ぶる前とバブル期そしてバブル後の調査では明らかに回収率も下がってきたし、事故も少しではあるが減少の傾向がみられた。
142. 大学生におけるゴルフに対するイメージとゴルフ授業履修の動機	共著	2010.09	ゴルフの科学 Vol. 23, No. 2 pp. 52-53 中京大学名古屋キャンパス	大学ゴルフ授業履修者に対してゴルフに対してどのようなイメージを持っているかを調査した。運動量は少ないが難しいスポーツであり、お金がかかるスポーツという回答が多かった。

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
143. 北米におけるゴルフ場運営についての研究	共著	2010.09	ゴルフの科学 Vol.23, No.2 pp.54-55 中京大学名古屋キャンパス	北米諸国のゴルフ場運営の現状について検討するため、調査したマーケティング策の内容、具体的なサービスの内容について日本と同様の傾向であった。
144. Marketing and Customer Service of Golf Course in Canada	共著	2010.10	16th Asian Games Science Congress Proceedings, pp. 327-328 October 10-12, 2010 Guangzhou, China (Guangzhou Sports University)	Kita.T, Yoshihara.S, Yamamoto.T
145. Trial and Results of Homework in a Baseball Class	共著	2010.10	16th Asian Games Science Congress Proceedings, pp. 360-361 October 10-12, 2010 Guangzhou, China (Guangzhou Sports University)	Kita.T, Yamamoto.T, Yoshihara.S
146. A Survey of golf Environment for Children About thi Golf courses in the Kinki regino in japan	共著	2010.10	アジア太平洋・スポーツ科学会議。上海体育大学	
147. 初等教育専攻学生における自己創作教具を用いた体育授業の実践と評価	共著	2011.06	日本運動・スポーツ科学学会第18回大会プログラム収録集 p.32 日本体育大学世田谷キャンパス	Kta.T, Yoshihara.S, Yamamoto.T, Hashiguti.T,
148. ジュニアゴルファー育成に向けたゴルフ場の取り組み	共著	2011.06	日本運動・スポーツ科学学会第18回大会プログラム収録集 p.32 日本体育大学世田谷キャンパス	北哲朗、橋口剛夫、吉原紳、堀江茂
149. Safety Measures in Golf-The Actual Situation Concerning Accidents as Revealed by a Questionnaire Survey of Golf Courses a Possible Measures to Prevent Them	共著	2011.07	16th Annual Congress of the European College of Sports Science, Book of Abstracts p.644 July, 6-9, 2011 Liverpool, UK	Yoshihara.S, Kkita.T, Yamamoto.T, Miura.M, Miura.K, Akita.K, Hashiguti.T, Ichikawa.D, Tamura.M, Yi, Chun Ji.Hyun
150. Study of Bone Ammount in Female Students-A Look at the Relationship among None Amount, Hip-Joint Muscle Strength, and Physical Activity-	共著	2011.07	16th Annual Congress of the European College of Sports Science, Book of Abstracts p.649 July, 6-9, 2011 Liverpool, UK	Kita.T, Yoshihara.S, Yamamoto.T Hashiguti.T
151. Study Regarding Torque Measurements-Are the Differences in Muscle Measurements Caused by Sex Difference Qualitative or Quantitative?-	共著	2011.07	16th Annual Congress of the European College of Sports Science, Book of Abstracts p.670 July, 6-9, 2011 Liverpool, UK	Yamamoti.T, Yoshihara.S, Kita.T, Miura.K, Miura.M, Tamura.M, Kato.Z, Akita.K, Yi.K,
152. ゴルフに於けるイメージ形成—アマチュアとプロゴルファーとの違いについて—	共著	2011.09	ゴルフの科学 Vol.24, No.2 pp.40-41 第27回日本ゴルフ学会大会 大阪体育大学	吉原紳、北哲朗、橋口剛夫、堀江茂

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
153. 日本のゴルフ場におけるウェブサイトの利用と運営・管理についての実態調査	共著	2011.09	ゴルフの科学 Vol. 24, No. 2 pp. 52-53 第24回日本ゴルフ学会大会 大阪体育大学	北哲郎、吉原紳、橋口剛夫、小山慎一、山本唯博、高橋宗良、川上哲
154. ゴルフ場支配人は「バブル崩壊後ゴルファーのマナーが低下した」と感じている	共著	2011.09	ゴルフの科学 Vol. 24, No. 2 pp. 58-59 第25回日本ゴルフ学会大会 大阪体育大学	北哲郎、吉原紳、橋口剛夫、小山慎一、山本唯博、高橋宗良、川上哲
155. ゴルフ場への来場者を増やすために行われるべきサービスはどんな内容か？—ゴルフ場支配人136人に聞いた「最も重要なサービス」とは—	共著	2011.09	ゴルフの科学 Vol. 24, No. 2 pp. 60-61 第26回日本ゴルフ学会大会 大阪体育大学	ゴルフ人口の減少が叫ばれる中、ごるふ場では多様なサービスが実施されている、プレー料金の割引や優待に関する内容が最も多く実施されている、業者が重要と考えるものは何かを調査、結果は「コース管理」
156. ゴルフ場の安全対策—アンケートによる近畿地区のゴルフ場の実態調査—	共著	2011.09	ゴルフの科学 Vol. 24, No. 2 pp. 64-65 第27回日本ゴルフ学会大会 大阪体育大学	近畿地区のゴルフ場における事故と救急医療体制の実態について調べることを目的とした。AEDを備えるゴルフ場が増えてきたこともあり、ごるふ場での突然死も減少傾向がみられた。
157. ゴルフラウンド中の心拍変動について	共著	2011.09	ゴルフの科学第24回日本ゴルフ学会大会 p. 62~63	ゴルフ・ラウンド中の心臓自律神経活動の変動について検討した。心臓自律神経活動についてはRR間隔を高速フーリエ変換によって評価した。
158. ゴルフラウンド時のティショット前とホールアウト後の血圧変動	共著	2011.09	ゴルフの科学 第24回日本ゴルフ学会大会 p. 56~57	ゴルフラウンド中のティショット前トホールアウト後の血圧に、有意差はなかった。ティショット前よりホールアウト後の方で高い値を示すホールが確認された。
159. 成人女性における股関節筋力・骨量・身体組成の関連	共著	2011.09	第66回日本体力医学会大会 予稿集 p. 307 海峡メッセ下関	北哲郎、吉原紳、橋口剛夫、小山慎一、山本唯博、高橋宗良、川上哲
160. トルク測定に関する研究—股関節筋力と腹筋力・背筋力の関係について—	共著	2011.09	日本体育学会第62回大会予稿集 p. 203 鹿屋体育大学	北哲郎、吉原紳、橋口剛夫、小山慎一、山本唯博、高橋宗良、川上哲
161. A Survey of golf Environment for Children About thi Golf courses in the Kinki regino in japan	共著	2011.11	The5 Asian-Pacific Conference on Exercise and Sports Science 於：中国上海体育学院	Kita. T, Yoshihara. S, Yamamoto. T Hashiguti. T
162. 東京大学スポーツ医学集中授業（渡会公治教授）股関節筋力、リストトルク、骨量の測定評価を担当	共著	2011.11	東京大学駒場キャンパス	東京大学駒場キャンパス 2/16~2/18
163. 大学ゴルフ授業における技能向上評価指標の作成に向けた試行と課題	共著	2012.06	日本運動・スポーツ科学学会 第19回大会 二松学舎大学	

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
164. A survey of imeging time of professional goifers and amateur golfers	共著	2012.07	17ht Annual Congress of the European College of Sports Science July 4-7 2012 Bruges/BEL	
165. Trial and results of homework in a university	共著	2012.07	17ht Annual Congress of the European College of Sports Science July 4-7 2012 Bruges/BEL	
166. Survey of manner code violations observed at golf course in japan	共著	2012.08	The 12th Asian Society of Adapted Physical Education and Exercise Symposium (ASAPE2012) August 2012 香港	
167. 「エージシューターの健康状態および身体組成の特徴」	共著	2012.08	第60回日本教育医学会記念大会 筑波大学 平成24年8月	
168. 「エージシュート達成ゴルファーの生活習慣」	共著	2012.08	第60回日本教育医学会記念大会 筑波大学 平成24年8月	
169. 「年間50回以上のコースラウンドをする熟年女性ゴルファーのプロフィール」	共著	2012.08	第60回日本教育医学会記念大会 筑波大学 平成24年8月	
170. 「女性エージシューターの生活習慣と身体組成」	共著	2012.08	第60回日本教育医学会記念大会 筑波大学 平成24年8月	
171. シニアゴルファーにおける精神的自立尺度と自尊感情尺度の特徴 — エージシュート達成者と熟年ゴルファーの比較	共著	2012.08	第60回日本教育医学会記念大会 筑波大学 平成24年8月	
172. 大学ゴルフ授業を介した「生涯スポーツとしてのごるふ」への誘いは「コースラウンド経験」が重要である	共著	2012.10	日本ゴルフ学会大会第25回大会号 インターナショナルゴルフリゾート京セラ・鹿児島	
173. 大学におけるゴルフ授業受講者の技術的課題	共著	2012.10	日本ゴルフ学会大会第25回大会号 インターナショナルゴルフリゾート京セラ・鹿児島	
174. プロゴルファーのイメージングタイム 石川 遼のイメージングタイムの分析	共著	2012.10	日本ゴルフ学会大会第25回大会号 インターナショナルゴルフリゾート京セラ・鹿児島	
175. ゴルフ場の安全対策 「九州地区ゴルフ場へのアンケート調査による事故の実態と予防対策についての検討」	共著	2012.10	日本ゴルフ学会大会第25回大会号 p. 51-52 インターナショナルゴルフリゾート京セラ・鹿児島	
176. 大学ゴルフ授業における家庭学習実践と技能評価の試み	共著	2013.06	日本運動・スポーツ学学会第20回大会 神奈川大学横浜キャンパス	

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
177. プロゴルファーのイメージングタイム — 第48回、第49回ゴルフ日本シリーズにおける石川遼選手のイメージングタイムの分析 —	共著	2013. 08	日本ゴルフ学会第26回大会	
178. ゴルフラウンド中の喫煙が心臓自律神経活動に及ぼす影響	共著	2013. 08	日本ゴルフ学会第26回大会	
179. ゴルフ場における喫煙環境と受動喫煙対策 — AFACT2013国際会議における発表概要報告 —	共著	2013. 08	日本ゴルフ学会第26回大会	
180. Current Situation of Smoking Environment and Measure against Passive Smoking in golf Course in the Kyushu Distinct	共著	2013. 08	The 10th AFACT Conference Program and Abstract book p. 206 August, 19-21, 2013	
181. 看護系学生における運動・スポーツ実施状況と文部科学省・新体力テスト結果に関する一考察	共著	2013. 09	日本教材学会設立25周年記念研究発表大会 研究発表論文集、pp. 152-153	
182. 看護系学生における運動実施状況と体力の関係	共著	2014. 06	日本運動・スポーツ科学学会第21回大会 玉川大学	
183. 北海道・東北のゴルフ場における喫煙環境と受動喫煙対策	共著	2014. 08	日本ゴルフ学会27回大会号 日本ゴルフ学会東北支部復興記念大会 ゴルフの科学 Vol. 26 No. 1 pp. 32-33	
184. ゴルフ・ラウンド中の喫煙が血圧に及ぼす影響	共著	2014. 08	日本ゴルフ学会27回大会号 日本ゴルフ学会東北支部復興記念大会 ゴルフの科学 Vol. 26 No. 1 pp. 34-35	
185. ゴルフ場の安全対策 中国・四国・九州地区ゴルフ場へのアンケート調査による事故の実態についての検討	共著	2014. 08	日本ゴルフ学会27回大会号 日本ゴルフ学会東北支部復興記念大会 ゴルフの科学 Vol. 26 No. 1 pp. 36-37	
186. 全米オープンゴルフにおけるリズムとタイミングについて	単著	2014. 08	日本ゴルフ学会27回大会号 日本ゴルフ学会東北支部復興記念大会 ゴルフの科学 Vol. 26 No. 1 pp. 38-39	
187. 研修Ⅲ-1 各大学によって教育環境教場環境が異なるなかで、さまざまな授業が行われている、参加者と議論、模索しながらカリキュラム研究	共著	2014. 08	平成26年度公益社団法人全国大学体育連合 大学体育指導者全国研修会 ゴルフ指導講師 明治大学	
188. 日本のゴルフ場における喫煙環境と受動喫煙対策	共著	2014. 11	平成26年度第8回日本禁煙学会大会 沖縄	

著書・学術論文の名称	単・共著の別	発行・発表年月日	発行所・発表雑誌又は発表学会等の名称	概要
189. 第2回大学ゴルフ研究会「研究報告」【事例報告】【授業青ディ合提案】【実技研究】	共著	2014. 11	武蔵野美術大学鷹の台キャンパス体育館	
190. ゴルフとテニスのリズムとタイミングについての報告	単著	2014. 11	日本ゴルフ学会 関東支部主催ゴルフホーラム 於：アメニティ水沢、聖マリアンナ医科大学	
191. 首都圏近郊ゴルフ場における喫煙環境と受動喫煙対策	共著	2014. 12	第7回日本健康医療学会 千葉県浦安市	
192. ゴルフ場での事故の実態と安全対策 — 中部地区のゴルフ場の事故についての報告 —	単著	2015. 08	日本ゴルフ学会ゴルフ・コミュニティカレッジ 武蔵野美術大学新宿サテライト	
193. ゴルフ場へのアンケート調査による実態 — 関東地区ゴルフ場の事故についての報告 —	共著	2015. 09	日本ゴルフ学会第28回大会 COCOPA RESORT CLUB (三重県)	
194. ゴルフとテニスのイメージングタイム 「松山英樹と錦織圭」のイメージングタイムについて	単著	2015. 11	日本ゴルフ学会関東支部主催第13回ゴルフフォーラム 聖マリアンナ医科大学	
195. 看護系女子学生における運動実施状況と健康状態および体力の関係	共著	2015. 12	運動とスポーツの科学学会 第21回大会	
196. ゴルフ場へのアンケート調査による実態 — 北海道・東北地区ゴルフ場の事故についての報告 —	共著	2016. 08	日本ゴルフ学会第29回大会 (神戸市)	
197. 全英オープンにおけるリズムとタイミングについて — 第145回全英オープンゴルフ2日目ババ・ワトソン、ローリー・マキロイ、松山英樹 —	共著	2016. 08	日本ゴルフ学会第29回大会 (神戸市)	
198. 看護系女子学生における運動実施状況と健康状態および体力の関係	共著	2016. 12	運動とスポーツの科学学会 第22回大会	
199. 日本の運動医学概論 ゴルフスポーツの安全対策 — アンケート調査から見た実態 —	共著	2017. 01	第1回日中医療保健研究会 東京理科大学 森戸記念館	
200. 第117回全米オープンゴルフ決勝ラウンド— 松山英樹選手のイメージングタイム —	共著	2017. 08	日本ゴルフ学会第30回記念大会 (広島)	
201. 看護系女子学生における運動実施状況と健康状態および体力の関係	共著	2017. 12	運動とスポーツの科学学会 第23回大会	